

毒キノコに注意



毎年、毒キノコを原因とする食中毒が発生しています

食用のキノコだと確実に判断できないキノコは、



絶対に

**採らない！ 食べない！
売らない！ 人にあげない！**

ツキヨタケ



中毒症状

食後30分-1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛等の中毒を起こす。

間違いやすい食用きのこ

- ・ヒラタケ
- ・ムキタケ
- ・シイタケ

テングタケ

中毒症状

食後30分程度で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸消化器の中毒症状が現れる。



神経系の中毒症状、瞳孔の収縮、発汗、めまい、痙攣等で、呼吸困難になる場合もあり、1日程度で回復するが、古くは死亡例もある。

クサウラベニタケ



中毒症状

食後20分-1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛等の消化器系の中毒を起こす。唾液の分泌、瞳孔の収縮、発汗などの症状も現れる。

間違いやすい食用きのこ

- ・ウラベニホテイシメジ
- ・ホンシメジ
- ・ハタケシメジ

ニセクロハツ

中毒症状

食後30分-数時間程度で嘔吐、下痢等の胃腸、消化器系の中毒症状を示す。



その後18-24時間ほどで横紋筋溶解が原因と考えられる全身筋肉痛、呼吸困難を示し、死亡に至ることもある。

✓ 気温の高い夏の後に適度な降雨があり、朝晩の気温が低下すると、多くのキノコが発生する可能性があります



キノコを食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を！



園芸用の観葉植物の誤食も発生！

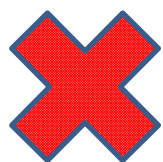
観葉植物の中には食べると有毒なものがあります。そうした有毒種を家庭菜園や庭などに植えて誤食を招くことがあります。

家庭菜園では、食用と園芸の種類が混じらないようにし、何を植えたか分かるようにしておきましょう。

毒きのこの見分け方や安全な食べ方などについて様々な誤解、誤った言い伝えがあります。

出典：消費者庁HP

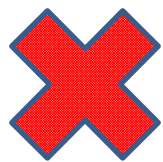
誤解 1 茎が縦に裂けるきのこは食べられる



本当

毒キノコにも、茎が縦に裂けるものがあります。

誤解 2 毒キノコは派手な色をしている



本当

毒キノコにも、地味な色のものがあり、食べられるきのこにも派手な色のものもあります。(真っ赤なタマゴダケなど)



国の原子力災害対策本部から、野生キノコの出荷制限の指示が出ている地域（御殿場市・小山町・裾野市、富士市・富士宮市）でのキノコ狩りは、自粛して頂きますようお願いいたします。